

Q1. 何でできているでしょう？



1



2



3

素材への飽くなき探究心



4

Q2. どのように成形したのでしょうか？



5



6

塗る、貼る、吹く、叩く、練る…



7



8

陶芸や金工、木竹工や染織、漆芸、ガラス工芸など、豊かな自然に恵まれた栃木県は多彩な工芸を生み出してきました。近代以降は「重要無形文化財保持者」(通称:人間国宝)に陶芸では濱田庄司、田村耕一、島岡達三が、竹工芸では勝城蒼鳳と藤沼昇が認定され、その作品は海外でも高く評価されています。本展は栃木ゆかりの工芸を中心に優品約70点を展示します。さらに素材や技法に焦点を当て、図面や石膏型、制作工程見本などもあわせて紹介します。「つくりかた」を知ることによって作品への理解が一段と深まり、新たな発見や感動が生まれるでしょう。奥深い工芸の世界へご案内いたします。

EVERYONE'S GUIDE TO MODERN CRAFTS

工芸の教科書

同開



Q3. 豊かな色彩・模様はどのようにつくられたのでしょうか？



9



10

素材×形×装飾のハーモニー



11



12



13

Q4. 何を表現しているのでしょうか？



14

創造の源泉を探る！



15



16



17

答えは会場で！

1. 濱田庄司《柿柚赤絵扁壺》1971年 2. 瀧田瑛一《白磁鍋手壺》1972年 3. 藤沼昇《盛籃「天真」》2010年 作家蔵 4. 江田 恵《肩衝金「竹聲」》2018年 作家蔵 5. 宮原楓翠《乾漆卵殻盛器》2000年 作家蔵
6. 岩田久利《花器》1983年 7. 三井安蘇夫《線影》1975年 8. 加守田章二《曲線彫文筒》1970年 個人蔵(栃木県立美術館寄託) 9. 島岡達三《塩釉象嵌織文壺》1981年 10. 松崎 融《黒漆朱象嵌四方盆》2018年 作家蔵
11. 宮原隆岳《鶴卵殻蛤香合》2016年 作家蔵 12. 日下田 正《紺地浮まじり糸木綿飾布》2010年 作家蔵 13. 高久空木《染色壁掛 モンステラ》1960年 14. 林 香君《雪月花》2016年 作家蔵
15. 勝城蒼鳳《花籃 盛夏》1990年 16. 八木澤啓造《花籃 竹時雨》1979年 17. 渡邊恵美子《樹想》2017年 作家蔵 所蔵先のないものはすべて栃木県立美術館蔵